



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場会社名 長瀬産業株式会社

コード番号 8012 URL <http://www.nagase.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長瀬 洋

問合せ先責任者 (役職名) 経理部統括

(氏名) 古川 方理

TEL 03-3665-3103

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	308,494	△6.9	7,794	△26.0	9,201	△19.1	5,402	△21.1
23年3月期第2四半期	331,311	17.8	10,533	100.2	11,369	96.1	6,849	121.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 3,669百万円 (74.7%) 23年3月期第2四半期 2,100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	42.04	—
23年3月期第2四半期	53.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	376,324	210,729	53.9
23年3月期	375,336	209,316	53.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 202,876百万円 23年3月期 201,516百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
23年3月期	—	9.00	—	13.00	円 銭	22.00
24年3月期	—	12.00	—	—	円 銭	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.00	円 銭	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	630,000	△4.6	15,500	△17.3	17,000	△17.6	10,000	△22.0	77.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	138,408,285 株	23年3月期	138,408,285 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	9,893,774 株	23年3月期	9,893,808 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	128,514,518 株	23年3月期2Q	128,547,717 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11
4. 補足情報	12
(1) 海外売上高	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### 業績全般の概況

当第2四半期までの日本経済は、東日本大震災の影響により停滞した生産活動が回復途上にあるものの、欧米における金融不安の拡大および急速な円高の進行による企業収益悪化懸念などもあり、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当第2四半期の業績は、国内販売が1,799億2千万円（前年同期比8.4%減）、海外販売が1,285億6千万円（同4.8%減）となり、売上高は3,084億9千万円（同6.9%減）となりました。

利益面につきましては、売上高の減少および一般管理費の増加により、営業利益は77億9千万円（同26.0%減）、経常利益は92億円（同19.1%減）、四半期純利益は54億円（同21.1%減）となりました。

#### セグメント別概況

第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を一部変更しており、前年同期比の金額および比率については、前第2四半期連結累計期間を当第2四半期連結累計期間において用いた報告セグメントの区分に組替えて算出しております。

#### 【化成品】 売上高：1,284億3千万円 前年同期比5.4%減

化成品につきましては、機能化学品事業において、塗料原料関連は増加しましたが、自動車業界向けウレタン原料の売上は減少、樹脂原料・添加剤関連は微減となりました。色材事業においては、顔料・添加剤関連および情報印刷関連材料の売上はほぼ横ばいとなりましたが、ディスプレイ関連向け機能色素、繊維加工業界向けの染料・繊維加工剤などは減少しました。スペシャリティケミカル事業においては、界面活性剤および加工油剤原料関連の売上は増加しましたが、精密研磨関連部材が減少したほか、有機合成原料、フッ素ケミカルなども減少し、全体として売上が減少しました。

#### 【合成樹脂】 売上高：1,053億5千万円 前年同期比4.3%減

合成樹脂につきましては、OA・家電関連の事業の売上が中国向け輸出を中心に減少し、自動車関連の事業は、自動車生産が回復傾向にあるものの、事業全体での関連商材の販売は減少しました。また、機能性フィルム・シート、樹脂成形品を中心とする事業も主力商品を中心に減少しました。海外での販売は、東南アジアおよび北米地域は微減に留まったものの、北東アジアで減少した結果、海外全体でも減少し、全体として売上が減少しました。

#### 【電子】 売上高：518億1千万円 前年同期比12.7%減

電子につきましては、液晶用フィルム関連、タッチパネル用部材などの売上は増加しました。半導体および液晶パネル製造用薬液は減少となりましたが、変性エポキシ樹脂関連は重電関連、携帯電話向けなどが堅調に推移し増加しました。海外についても全般的に好調に推移しましたが、国内において液晶関連部材の加工ビジネスからの撤退があったため、全体として売上が減少しました。

#### 【ライフサイエンス】 売上高：224億5千万円 前年同期比12.6%減

ライフサイエンスにつきましては、ファインケミカル事業において、医薬品の製造を行うナガセ医薬品(株)の売上は増加したものの、医薬品原料・中間体関連、生活資材や農薬関連の売上が減少したほか、酵素・発酵生産物関連もナガセケムテックス(株)製品の販売減少などにより売上が減少しました。化粧品・健康食品の販売を行うビューティケア製品事業は、当第2四半期に上市した新化粧品が堅調に推移しましたが、昨年度販売を開始した健康食品が減少し、全体として売上が減少しました。

#### 【その他】 売上高：4億4千万円 前年同期比5.3%増

特記すべき事項はありません。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### 資産、負債、純資産等の状況

総資産は、現預金の減少や投資有価証券の減少等がありましたが、棚卸資産の増加や設備投資による有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ9億8千万円増加の3,763億2千万円となりました。

負債は、借入金の増加等がありましたが、仕入債務や繰延税金負債の減少により、前連結会計年度末に比べ4億2千万円減少の1,655億9千万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少や為替換算調整勘定の悪化等がありましたが、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ14億1千万円増加の2,107億2千万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の53.7%から0.2ポイント上昇し、53.9%となりました。

### 連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増加による運転資金の増加や法人税等の支払等があったものの、税金等調整前四半期純利益94億5千万円の計上等により、17億5千万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、49億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加等があったものの、配当金の支払いが16億7千万円あったこと等により5千万円の支出となりました。

以上のほか、為替変動による現金及び現金同等物に係る換算差額8千万円の減少や新規連結に伴う現金及び現金同等物1億6千万円の増加があったことにより、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ31億2千万円減少し、440億7千万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当下期の日本経済は、自動車生産の本格回復が見込まれますが、大型TVパネル生産の急速な落ち込みと中小型パネルへのシフトがドラスティックに進行しており、欧米経済の減速感が強まる中、これまで世界景気を牽引してきた新興国でも金融引き締めにより成長の勢いが鈍化しつつあり、加えてタイにおける自然災害によるサプライチェーンへの影響が拡大するなど、海外を起点とした下振れリスクの高まりが懸念されます。

こうした状況の中、当社グループは化成品、合成樹脂、エレクトロニクスの各分野において、グループの製品や独自技術を生かした製造関連事業や機能強化への取り組みを継続し、高付加価値ビジネスの拡大に注力するとともに、環境・エネルギーの分野や、バイオ・ライフサイエンスの分野においても、自社技術や製造機能の強化を図り、事業基盤のより一層の強化を図っております。

これらの取り組みを通じ、第2四半期累計期間においては期初の見込みを上回りましたが、通期の連結業績予想につきましては、北東アジアにおける減速傾向に加え、タイ国内のビジネスが自然災害により大きく影響を受けると見込まれることから、売上高6,300億円（前期比4.6%減）、営業利益155億円（同17.3%減）、経常利益170億円（同17.6%減）、当期純利益は100億円（同22.0%減）と修正致します。

なお、平成23年8月3日に更生会社株式会社林原等の再建支援に関するスポンサー契約を締結致しましたが、現時点では更生計画の提出前であり、更生計画の認可決定がなされるまでは、当社グループの財政状態や経営成績等に与える影響を財務諸表に織り込むことは困難であるため、業績見通しにはその影響を織り込んでおりません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	47,202	44,594
受取手形及び売掛金	186,113	182,406
商品及び製品	34,033	41,231
仕掛品	531	1,096
原材料及び貯蔵品	2,150	2,725
その他	8,464	8,691
貸倒引当金	△1,191	△947
流動資産合計	277,304	279,798
固定資産		
有形固定資産	39,916	42,293
無形固定資産	3,674	3,622
投資その他の資産		
投資有価証券	50,726	46,664
その他	4,307	4,168
貸倒引当金	△592	△224
投資その他の資産合計	54,441	50,609
固定資産合計	98,032	96,525
資産合計	375,336	376,324
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	101,679	100,550
短期借入金	15,525	17,972
1年内返済予定の長期借入金	613	5,957
未払法人税等	3,947	3,436
引当金	3,599	3,417
その他	13,152	12,217
流動負債合計	138,517	143,551
固定負債		
長期借入金	10,555	5,488
繰延税金負債	8,810	7,663
退職給付引当金	7,295	8,074
その他	841	816
固定負債合計	27,502	22,043
負債合計	166,020	165,594

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	10,041	10,041
利益剰余金	181,665	185,282
自己株式	△5,460	△5,460
株主資本合計	195,946	199,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,188	11,136
繰延ヘッジ損益	△8	1
為替換算調整勘定	△7,610	△7,823
その他の包括利益累計額合計	5,570	3,314
新株予約権	235	112
少数株主持分	7,564	7,740
純資産合計	209,316	210,729
負債純資産合計	375,336	376,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	331,311	308,494
売上原価	294,287	272,703
売上総利益	37,023	35,790
販売費及び一般管理費	26,490	27,995
営業利益	10,533	7,794
営業外収益		
受取利息	88	112
受取配当金	592	609
持分法による投資利益	101	159
その他	546	987
営業外収益合計	1,328	1,869
営業外費用		
支払利息	275	320
その他	216	141
営業外費用合計	491	462
経常利益	11,369	9,201
特別利益	474	497
特別損失	747	248
税金等調整前四半期純利益	11,096	9,450
法人税、住民税及び事業税	4,160	3,929
法人税等調整額	△275	△359
法人税等合計	3,885	3,569
少数株主損益調整前四半期純利益	7,211	5,880
少数株主利益	361	477
四半期純利益	6,849	5,402

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,211	5,880
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,572	△2,063
繰延ヘッジ損益	△12	9
為替換算調整勘定	△1,482	△131
持分法適用会社に対する持分相当額	△44	△24
その他の包括利益合計	△5,111	△2,210
四半期包括利益	2,100	3,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,908	3,146
少数株主に係る四半期包括利益	191	523

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,096	9,450
減価償却費	3,126	3,324
売上債権の増減額(△は増加)	△3,766	3,714
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,756	△7,595
仕入債務の増減額(△は減少)	△96	△1,544
その他	△270	△1,581
小計	4,332	5,767
利息及び配当金の受取額	763	728
利息の支払額	△279	△322
法人税等の支払額	△2,361	△4,421
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,455	1,752
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,996	△3,450
その他	△1,861	△1,450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,858	△4,900
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,891	2,659
配当金の支払額	△1,156	△1,670
その他	△193	△1,045
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,540	△57
現金及び現金同等物に係る換算差額	△704	△85
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,566	△3,290
現金及び現金同等物の期首残高	42,807	47,202
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	204	165
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,445	44,076

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	化成品	合成樹脂	電子	ライフ サイエンス	計					
売上高										
外部顧客への 売上高	135,814	110,068	59,323	25,686	330,893	418	331,311	—	—	331,311
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,177	1,271	268	201	2,919	2,683	5,603	—	△5,603	—
計	136,992	111,339	59,592	25,888	333,812	3,102	336,915	—	△5,603	331,311
セグメント利益 又は損失 (△)	4,974	2,566	2,977	574	11,092	64	11,157	△956	332	10,533

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。
2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失 (△) は、各報告セグメント及び「その他」に配分していない費用であります。
3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。
4. セグメント利益又は損失 (△) の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	化成品	合成樹脂	電子	ライフ サイエンス	計					
売上高										
外部顧客への 売上高	128,435	105,355	51,810	22,452	308,053	440	308,494	—	—	308,494
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,151	1,642	382	297	3,474	2,663	6,137	—	△6,137	—
計	129,587	106,997	52,192	22,750	311,527	3,104	314,632	—	△6,137	308,494
セグメント利益 又は損失 (△)	3,959	1,656	3,168	340	9,125	82	9,207	△1,801	388	7,794

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。
2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメント及び「その他」に配分していない費用であります。
3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。
4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
5. 報告セグメントの変更等に関する事項
- 第1四半期連結会計期間から、より一層のシナジー効果を図るため、従来「電子」セグメントに含まれていた精密研磨関連資材・太陽電池関連資材・ハードディスク関連資材を取り扱うビジネスを「化成品」セグメントに区分変更しております。
- また、前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報を記載しております。

**(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記**

該当事項はありません。

**(7) 重要な後発事象**

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

	北東アジア	東南アジア	北米	欧州・他	計
I 海外売上高(百万円)	77,493	39,008	10,358	8,129	134,989
II 連結売上高(百万円)					331,311
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	23.4	11.8	3.1	2.4	40.7

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

	北東アジア	東南アジア	北米	欧州・他	計
I 海外売上高(百万円)	72,971	37,198	10,809	7,587	128,566
II 連結売上高(百万円)					308,494
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	23.6	12.1	3.5	2.5	41.7

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。  
 2. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。  
 3. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国  
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ  
 (3) 北米 …………… 米国  
 (4) 欧州・他 …………… ドイツ